

前橋市リユースモデル事業 報告書

1. リユースモデル事業の概要

(1) プランの概要

リユース品の使用及び提供を普及啓発するイベント「リユース宝市」を開催する。テーマを「私にとっては不用でも、誰かにとっては宝物」とし、家庭に眠る“使えるけど使わない品物”をイベント当日に持参いただき、集まったものを無料で提供・交換するイベントを開催する。市民団体、民間事業者とも連携し、残った製品等も可能な限りリユースを行う。

「リユース宝市」は、平成 26 年 12 月 21 日（土）にグリーンドーム前橋サブイベントエリアにて開催した。

① 対象品目

市民の方から提供いただくリユース品は、「衣類」、「ホビー用品」、「生活雑貨」、「書籍」、「育児用品」、「おもちゃ」、「家具」とし、食料品、電化製品、医療・介護機器などは対象外とした。

市民は、提供した品物が残った場合にも、持ち帰りの必要はなく、前橋市においてリユース・リサイクル可能なものを仕分けし、市民団体等でのリユース利用、リユース・リサイクル事業者への引渡し、または前橋市にて適正処理を行う。具体的には、市民団体（南橋リサイクルの会）が定期開催しているリユース品交換会に出品できるものを選別し別途保管、次いで古着・古紙を選別しそれぞれリサイクル事業者に引き渡し、これ以外のものは前橋市清掃工場等で処分する。

「リユース宝市」で対象としたリユース品

品目	詳細説明
衣類	洗濯済でまだ着られるもの、靴、かばん、帽子も対象
ホビー用品	アウトドア、スポーツ用品（※スキー、スノーボード、自転車は不可）
生活雑貨	未使用の贈答品・日用品、新品同様の小物雑貨など（※刃物は不可）
書籍	絵本、漫画、一般書籍（※雑誌は不可）
育児用品	マタニティ用品、ベビー用品（※チャイルドシートは不可）
玩具	ぬいぐるみ、ブロック 1 個から、知育玩具、ジャングルジムなど
家具	カラーボックス程度の小型家具、小型ソファ、衣装ケースなど汚れ破損が少なく使用できるもの（※大型家具は不可）

② 取組の概要

「リユース宝市」開催に向けた事前準備等を含めたスケジュールは下記の通りである。11 月下旬～12 月上旬中旬にかけて、市のウェブサイトでの案内、ちらしの自治体回覧、ラジオ CM の放送、地元フリークーポン紙への広告掲載などの広報活動を実施し、リユース品の事前収集を行った。

「リユース宝市」開催に向けたスケジュール

日時	取組内容
事前準備 (10～12月中旬)	・資材準備、関係者との調整などの事前準備(10、11月) ・広報活動(ちらしの自治会回覧、ラジオCMの放送、ラジオ番組への出演、地元フリークーポン紙への広告掲載など 11、12月) ・リユース品の事前収集の実施(回収ボックス(3ヵ所)、粗大ごみからの料品ピックアップなど 11、12月)
12月20日(金)	・会場設営、事前収集したリユース品の陳列など
12月21日(土) リユース宝市開催	・午前11時～午後1時：参加者からのリユース品提供、会場内への陳列 ・午後1時～午後3時：参加者のリユース品の持ち帰り(来場者アンケート、リユース自転車の抽選会など実施) ・午後3時～：残った製品の選別・仕分け、持ち帰り
効果測定・成果取り まとめ	・残った製品の仕分け、市民団体・事業者への引渡し ・効果測定、来場者アンケートの集計等

「リユース宝市」で提供するリユース品は、「1. イベント当日に参加者が持参」、「2. 事前に収集」の2つに大別される。

「1. イベント当日に参加者が持参する方法」は、開催当日(午前11時～午後1時まで)、会場入口付近に設置した受付において係員が市民から製品を受取り、係員が会場内に品目ごとに陳列した。

「2. 事前の収集」は、①市有施設3ヵ所に事前に設置した「リユース品回収ボックス」にて拠点回収した製品、②一般廃棄物収集運搬業者による未使用品等の提供、③粗大ごみの集団回収及び戸別回収から良品をピックアップ、の3つの方法で準備を行った(③による出品実績はなかった)。事前に収集したリユース品は、イベント前日に会場内にて品目別に陳列を行った。

リユース宝市は13時～15時に開催、会場内の混乱を防ぐため参加者の入場制限をしながら会場内に誘導し、品目別に陳列された製品の中から欲しいものを自由に持ち帰ってもらった。開始直後は多くの方に楽しんでもいただく目的で持ち帰り品数を1人10点までと制限し、途中から品数の制限は解除した。

③ 役割分担

前橋市は、「リユース宝市」の主催者として、開催に向けた企画・準備・当日運営・効果測定等を行う。市民団体「南橋リサイクルの会」はリユース品の仕分け整頓、当日の会場運営の支援を、群馬県は広報、スタッフ協力等を、前橋市一般廃棄物処理事業協同組合、前橋市再生資源事業協同組合はリユース品の提供、有限会社ハシモトはリユース宝市終了後の、残った衣類等の引き取り等を行う。

(2) 広報・PRの方法

ちらしは16,000枚作成し、自治会での回覧を実施、また、FMぐんまでのラジオCMの放映、地元密着フリークーポン紙「モテコ」での広告掲載、市ウェブサイトでの広報などを行った。

回覧 前橋市 ごみ減量課

リユース宝市は、
“使えるけれど使わない品物”を
皆さんから譲っていただき、
それを無料で提供するイベントです。

開催テーマは、
「私にとっては不用でも、誰かにとっては宝物」

掘り出し物を見つけに
ご家族お揃いでお越しください。
なお、早い者勝ちでお好きな物を
お持ち帰りいただくイベントですので
お早めのご来場よりお楽しみいただけます。

リユース自転車の抽選会もありますよ。

12月21日土

グリーンドーム前橋サブイベントエリア

午後1時～3時

※リユース自転車抽選会へご参加の方は、
午後1時30分までに会場へお越しください。

なるべく不用品を
お持ちになってのご来場を

皆さんから提供いただく品物がこのイベントの主役です。
衣服、日用品、おもちゃ、書籍…
ご家庭にある“使わない物”を当日会場にお持ちください。

早得！とにかくうれしい4つの特典

午前11時～午後1時までにご不用品を提供してくれた方

1. 優先的に入場できます（整理券配布）
2. 指定袋20枚プレゼント
3. 先着400名様に粗品をプレゼント
4. リユース自転車の当選確率5倍！



環境省モデル事業

リユース宝市

生活チャレンジ
100

初開催



今注目のリユース、 リサイクルよりもECO。

そうだ!!
ウチのアレ、
持って行こう



リユースは、“そのままの形”で再使用することをいいます。
一方でリサイクルは、新しい製品の原料にすることをいい、
運搬、選別、粉碎など多くのエネルギーやコストがかかります。
このため、よりECOなリユースが注目されています。
みなさんに、“リユースの楽しさを伝えたい”そんな気持ちで
込めてリユース宝市を開催します。

提供いただきたいもの

前橋市のご家庭から出たもので、ご自分で搬入
できるものが対象です。

※食料品、電化製品、医薬・介護機器はご遠慮ください。

●衣類
(洗濯済でまだ着られる
もの 靴、かばん、帽子
もOK)

●ホビー用品
(アウトドア、スポーツ
用品 ※スキー、スノー
ボード、自転車は不可)

●生活雑貨
(未使用の贈答品・日用
品 新品同様の小物雑貨
など ※刀物は不可)

●書籍
(絵本、漫画、一般書籍
※雑誌は不可)

市役所正面玄関で
事前収集もしています。
回収品目：おもちゃ、
・前橋プラザ元21(2階)
・児童文化センター
でも回収中

●育児用品
(マタニティ用品、ベビー
用品 ※チャイルドシー
トは不可)

●おもちゃ
(ぬいぐるみ、ブロック
1個から、知育玩具、ジャ
ングルジムなど)

●家具
(カラーボックス程度の
小型家具、小型ソファ、
衣装ケースなど汚れ破損
が少なく使用できるもの
※大型家具は不可)

※提供いただいた品物が残った場合は、持ち帰りの必要はありません。
※このイベントは、品物をお持ちにならなくても入場でき、自由にお持ち帰りいただけます。
※イベント当日は、食用廃油と使用済小型家電の回収も行います。
※廃油はペットボトルに入れてよく蓋を閉めてください。(期限切れの未使用油、ごま油等も可)



案内図

- 主催 前橋市
- 共催 群馬県
- 協賛 前橋市一般廃棄物処理事業協同組合
前橋市再生資源事業協同組合
- 協力 南橋リサイクルの会
- お問い合わせ 前橋市役所環境部ごみ減量課
☎027-898-6272

※このチラシはリサイクルでできているので、不要になった場合は「雑紙」として出してください。

掘り出し物が見つかるかも？ 12月21日はリユース宝市へ

問い合わせは ごみ減量課 ☎027-898-6272



「リユース宝市～私にとっては不用でも、誰かにとっては宝物」を開催。下図のような家庭で眠っている再使用可能な物（リユース品）を募集し、無料で提供します。また、リユース自転車の抽選会も行います。リユース品提供者だけでなく、どなたでも参加できますので、ぜひ、ご来場ください。

日時＝12月21日(土)午後1時～3時

会場＝グリーンドーム前橋

■リユース品を譲ってください

皆さんから提供していただくリユース品がこのイベントの主役です。各家庭にある再使用可能な

リユース品を当日会場へお持ちください。受付時間は午前11時から。午後1時までにお持ちいただいた人には特典もあります。

なお、市役所や前橋プラザ元気21、児童文化センターでは事前収集も行っています（市役所以外は育児用品とおもちゃのみ収集）。

■ボランティアスタッフを募集

リユース品の整理や分別など、当日のボランティアスタッフを募集します。

活動時間＝正午～午後4時

申し込み＝12月6日(金)までにごみ減量課へ



衣類・靴・かばん



ホビー用品



生活雑貨



書籍



育児用品



おもちゃ



小型の家具

広報まえばし 平成25年11月15日号 4

広報まえばし・上（約14万部）

フリークーポン紙「モテコ」・下（19万2千部）

前橋市役所
ごみ減量課

リユース宝市

2013年12月21日(土)
13:00～15:00
グリーンドーム前橋

雨天決行
入場料無料

掘り出し物は早い者勝ち
無料で参加・持ち帰りOK

あげて、もらって。楽しい無料交換会☆

■ご提供いただきたい物■
・衣類・靴・かばん・ホビー用品・生活雑貨・書籍・育児用品・おもちゃ・小型の家具
※電化製品、大型家具等は不可

注目イベント!
※午後1時30分までにお越しください

リユース自転車抽選会

①優先入場できる整理券配布
②指定袋20枚プレゼント
③先着400名様に粗品プレゼント
④リユース自転車の当選確率5倍
・11時～13時までに不用品ご提供の方
【有効期限】H25年12月21日のみ有効



リユース宝市 in グリーンドーム前橋

☎027-898-6272

国 前橋市岩神町1-2-1 園 受付11:00～ 開始13:00～
園 お問い合わせ先は前橋市役所ごみ減量課の番号です
不用品をお持ちでなくても無料で参加できます



駐車場有 イベント有 ファミリーOK カップルOK

(特徴)

読者層の90%が
10～30代である。



<会場入り口>



<リユース品持ち込み受付>



<開場を待つ参加者>



<陳列準備中の様子>



<開場前の陳列（キッズ洋服）>



<開場前の陳列（家具類）>



<開場前の陳列（書籍）>



<開場前の陳列（自転車（抽選））>



＜リユース品を探す様子①＞



＜リユース品を探す様子②＞



＜会場の様子＞



＜来場者アンケートの様子＞



＜リユース自転車抽選会の様子＞



＜特選品じゃんけん大会の様子＞



＜終了後に残った製品の様子①＞



＜終了後に残った製品の様子②＞

本日は、ご来場頂きありがとうございました。

今後もリユースショップの活用や
お知り合いに譲るなど、
リユースへのご理解とご協力を
お願いいたします。

今注目のリユース、リサイクルよりも ECO。

リユースは、“そのままの形”で再使用することをいいます。一方でリサイクルは、新しい製品の原料にすることをいい、運搬、選別、粉碎など多くのエネルギーやコストがかかります。このため、より ECO なリユースが注目されています。



皆さんから預かっている大切な税金。

前橋市は、ごみの処理費用を削減して
身近な市民サービスに活用したいと
思っています。

ごみ減量のプロジェクト「実施中！」

G活チャレンジ! 100

本当のごみとは、再び使うこと（リユース）も、形を変えて使うこと（リサイクル）も出来ず、燃やすか埋め立てることしかできない物です。

みんなでこのことを意識してごみ減量活動に挑戦しましょう！（G活チャレンジ）

※このチラシはリサイクルできますので、不用になった場合は「雑古紙」として出してください。



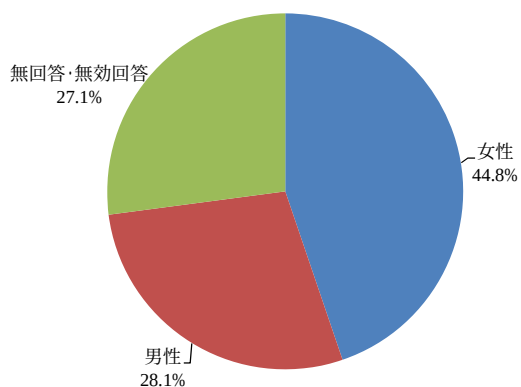
2. モデル事業の実施結果について

リユース宝市への参加者は約 800 人、うちリユース品を持参した人は約 600 人であり、持参者 1 人当たりの持込量は 2.9kg（推測）であった。来場者の属性としては、世代別で差異はあるものの、いずれの年代からの来場者がおり、乳児、幼児を連れての若年世代の来場も見受けられた。

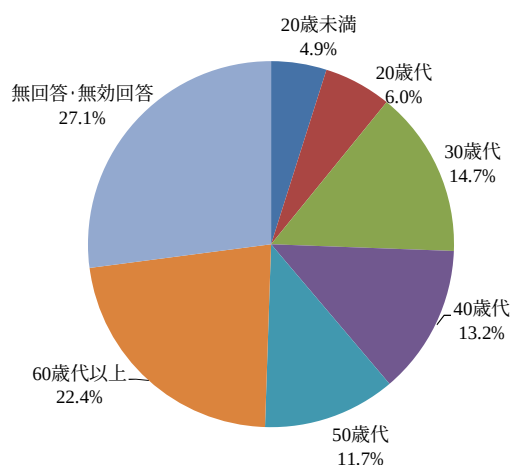
事前収集及び当日持ち込み合わせて 4,970kg（推計）のリユース品が会場内に陳列され、うち 3,915kg（推計）が持ち帰られ、リユースされたものは全体の 78.8%に相当すると推計される。

持ち帰りされずに残ったものは 1,055kg（全体の 21.2%）であり、衣類・ぬいぐるみ・かばん（800kg）、書籍（170kg）はリサイクル事業者に、食器類とハンガーやイベント中に破損した品物などを不燃ごみ（85kg）として処理した。ごみとして処理した割合は全体の収集量のうち 1.7%であった。

図表 1 性別（N=469）



図表 2 年齢（N=469）



リユース品の内訳（単位：kg）

	事前収集	当日持込	合計重量	残量	リユース率
本	400	220	620	170	72.6%
洋服 キッズ	400	220	620	140	77.4%
おもちゃ	180	100	280	10	96.4%
くつ	80	50	130	0	100.0%
帽子	40	20	60	0	100.0%
かばん	100	50	150	10	93.3%
洋服 レディース	1,000	550	1,550	550	64.5%
洋服 メンズ	300	160	460	90	80.4%
ホビー用品	130	70	200	0	100.0%
家具	100	60	160	20	87.5%
日用雑貨	220	120	340	15	95.6%
食器類	260	140	400	50	87.5%
合計	3,210	1,760	4,970	1,055	78.8%

※ 品目別に一部分を計量し、全体量を推計して重量を算出した。

※ 残量は、全量を計量した。



＜リユース品の提供量の様子＞



＜リユース品の残量の様子＞

3. モデル事業の達成度・来場者の満足度について

イベントの目標として設定した値をいずれの項目も達成した。

来場者の満足度について、「リユース宝市」を利用した際の満足度をスコア化して整理する。

「全体について」は、1.01 ポイントとなっており、全体的にやや満足していただいたと推察される。一部指摘された会場・運営・マネジメントの方法などについて改善を行うことで、これら満足度も向上すると考えられる。

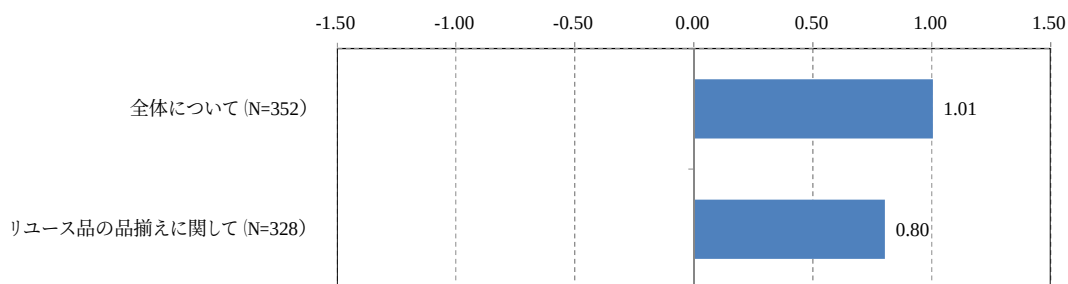
また、「リユース品の品ぞろえ」については、0.80 ポイントとなっている。自由回答をみると、全体的な品数や品揃えは悪くはないが、会場の混雑、陳列の方法や、特定の製品の人気があって殺到したことなどにより、やや評価が低くなったものと考えられる。

今後の継続については、「継続してほしい」と回答した人が、73.6%（345 件）と 7 割以上となっている。一方で、継続の必要はないと回答した人は、わずか 0.4%（2 件）であり、ほとんどの人が継続を期待しているものといえる。

モデル事業の達成度

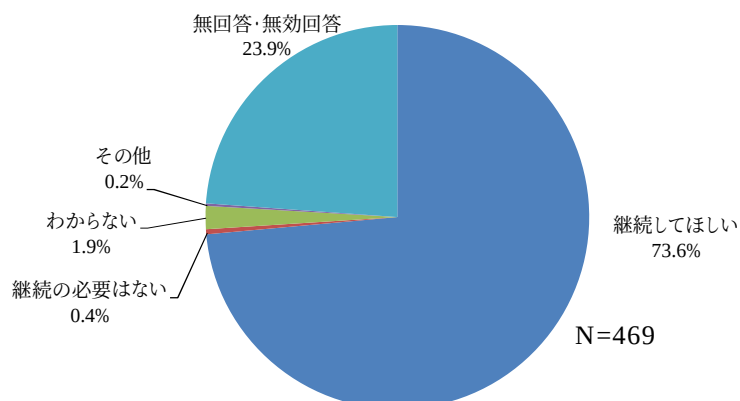
項目	当初目標値	実績	評価
来場者数	500 名	約 800 名	達成
リユース率	60%	78.8%	達成
アンケート回答数	300 件	469 件	達成

図表 3 「リユース宝市」の満足度



※満足を 2 点、やや満足を 1 点、普通を 0 点、やや不満を -1 点、不満を -2 点とし点数化、回答数で除することでスコア化する。

図表 4 「リユース宝市」の今後の継続意向



4. モデル事業の事業採算性について

リユース宝市に要した差引経費は概算で 1,980,540 円であった。今回リユース又はリサイクルされた 4,885kg をごみとして処理した場合に係る費用は 188,072 円（計算上の数値：処理経費 38.5 円/kg より算出）にとどまった。その他の効果を数値で算出することは困難であるが、啓発ちらしや広報紙によるイベント実施の啓発にあたり広く「リユース」という言葉を普及でき多くの市民に不用品の提供をいただけたこと、また不用品が新しい持ち主の手に渡る過程の体験を提供できたことなどは、今後の環境意識、リユース意識の醸成に繋がるものであったといえる。

「リユース宝市」に要した経費等（単位：円）

支出合計	1,996,385		
モデル事業補助	988,385		
広報費	222,810	(1) 啓発ちらし（16,000 枚）	112,560
		(2) フリークーポン紙広告掲載（1 回、12 月号）	47,250
		(3) ラジオ CM 広告（1 日 1 回 15 秒放送×10 回）	63,000
事業費	765,575	(1) 拠点回収箱購入（9 個）	65,205
		(2) ブルーシート（16 枚）	78,960
		(3) のぼり旗（30 本）	119,700
		(4) 屋外用立看板（2 台）	88,200
		(5) 来場記念品（液体薬用石鹸 400 個等）	115,760
		(6) リユース自転車整備費用（20 台）	100,000
		(7) 会場借上料	197,750
モデル事業対象外	1,008,000		
人件費（概算）	988,000	(1) 事前準備等（延べ 100 時間）	260,000
		(2) 前日準備、当日従事（延べ 280 時間）	728,000
その他諸経費	20,000	(1) 車両燃料費、消耗品等	20,000
歳入合計	15,845		
古着等売却益	14,400	洋服、ぬいぐるみ、かばん（800kg）	
古紙売却益	1,445	書籍（170kg）	
差引	1,980,540		

【アンケートの自由回答より環境意識の醸成に関する回答例】

- ・まだ使えるものを有効に回せて大変有意義だと思う。（3 名）
- ・リユースをするのはとても良いことだと思います。
- ・捨てればゴミだけど、他の人から見ると宝物にもなると感じました!!
- ・はじめてでしたが、子どもにもリサイクルの意味など教えられて良いと思います。
- ・大事にしていたぬいぐるみを持参した。新たにかわいがっていただけたと思うと嬉しく思う。
- ・捨てられないものがあつたが、必要な人にもらってもらえると良いと思う
- ・来年もあるなら、リユースできる物をおいておきたいです。
- ・こんなに盛大だとは思いませんでした。来年は商品も提供したいと思っています。
- ・今度は持ってこようと思います
- ・新品同様か未使用のものしか出せないものと思っていましたが、使いこんだものも多くみられ、持っていく方も多くいるようだったので次回はもっと出せるものがありそうです。

5. モデル事業の成果（まとめ）

（1）ごみの減量

持ち込まれたリユース品のほとんどが普段はごみとして排出されているものであるため、新しい持ち主の手に渡ったことで、ごみの排出抑制につながった。

（2）ごみ減量意識の高揚

リユース宝市を機会にこれまでリユースを考えていなかった多くの市民が、リユースを理解するきっかけになった。

（3）若年世代への啓発

前橋市では、消費が多くもっともごみを出す若年世代への普及啓発を強化している。リユース宝市では、従来型の環境イベントや環境講話では来場が見込めない方々が多く来場されリユースへの理解を深める良い啓発機会であった。

6. 今後の取り組み方針

（1）本事業は来場者の継続要望もあることから、前橋市として来年度も継続して実施することを予定している。

（2）単なる一過性のお得なイベントとしてではなく、規模は小さくなくても地域に根ざした活動になるよう広め、市民団体による自主的な運営等に発展させたい。

（3）市民にまずリデュース、リユースを考えていただき、リサイクルできないものだけがごみであると意識していただけるような啓発を進めたい。